

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 8月 15日

アンケート期間:令和 6年 6月 1日 ~ 令和 6年 7月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS名東校

保護者等数(児童数) 23

回収数 13

割合 57%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0	・体験の時に見た限りなのであまり覚えていませんが、確保されているように思います。	お子様に合わせて教具の配置等を変え支援をしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2	0	0	・痙攣時やこだわりが強く出た時の対応は専門性が高くないのかなと感じた。	S.I.C.KIDS本部の研修や名古屋市社会福祉協議会などの研修への参加、自己研鑽に励み、今まで以上に専門性を高めてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	0	1	・生活空間や環境はそうだなと思うけど、障害の特性に応じた設備等の部分は詳しく見てないのでわかりません。	今後もお子様支援に集中できるような環境整備に努めていければと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	0	0	・ゴミもなく、きちんと整えられているように思います。	今後も心地よくお越し頂けるよう掃除などの徹底を行っていきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	0	0	0		モニタリングや支援の様子を踏まえ、ニーズや課題を客観的に分析し、支援計画を立ててまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	1		今後もお子様の成長とともに感じられるよう支援してまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	2	0	0		支援会議を経て作成された個別支援計画を基にプログラムを立てております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	2	0	0	・毎回様々な活動をしている。	今後ご利用毎にプログラムを立てていき、支援終了後にはフィードバックさせていただきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	7		本部主催のファミフェスにご利用者様をご案内しております。
保	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	0	0	0		保護者様へ支援開始前に支援計画を説明し、同意を得ております。今後も丁寧な説明を行ってまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	2	3	6		保護者セミナーや座談会等を通し、家族支援プログラムを行ってまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	0	0	0		今後も課題に対しての取り組み状況等、フィードバックし、共通理解をしていくよう心掛けていきます。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	4	0		定期的な面談時以外でも育児に対する助言や支援が行えるようお声掛けをしたり、ご希望に対して迅速に対応してまいります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	6	4		引き続き保護者セミナーや座談会等を実施してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	0	0	1	・フィードバックの方法など子どもの特性に合わせた対応をLINEで相談したら、すぐに別の方法を提案してくださり、応じていただけた。	今後も相談があった際には迅速に対応してまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	0	0		今後もそれぞれにあった伝達方法を行ってまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	3	0	6		公式LINEやSNS等を活用し、今まで以上に情報を発信させていただきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	2	0	1		より一層個人情報の取り扱いに注意してまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	2	0	6		保護者様の目の届く場所に保管し、これまで以上に保護者様への周知を致します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	0	6		今後も定期的に避難訓練を実施してまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	0	0	・まだやりたい、早く行きたいととても楽しんで通所している。	通所いただいている皆様に満足感を得て頂けるよう精進してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	1	0	0	・楽しみながら成長できていると感じている。	通所いただいている皆様に満足感を得て頂けるよう精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 7月 31日

公表:令和 6年 8月 15日

事業所名 S.I.C.KIDS名東校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースは確保しております。	お子様同士がぶつからない様に配慮しております。
	2	職員の配置数は適切である	○		適切に配置しております。	児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子様の特性に合わせ、構造化に努めています。	玄関に段差があり一部バリアフリー化されていない箇所はあるが、構造化についてはお子様に丁度良い範囲で実施する様にしています。また、移動範囲は障害物が無いようにしています。必要に応じて設備を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除、消毒、換気を徹底して実施しております。	お子様が支援に集中できるような空間づくりを心がけております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所で目標を設定して、よりよい療育の向上を図っております。	日頃の療育を振り返り、改善に繋がるようにミーティングを行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		集計を取り、事業所内での情報共有、今後の支援等をより良いものにしてまいります。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		集計を取り、事業所内での情報共有、今後の支援等をより良いものにしてまいります。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っておりません。	第三者評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内や外部研修に参加しております。	定期的に行っていけるように取り組んでまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリング、職員間の情報をもとにお子様、保護者様のニーズに応えられるように作成しております。	今後も常にお子様及びその保護者様の立場にたって、効果的な支援を行うように心がけてまいります。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日常チェックリスト、アセスメントシート等を活用しております。	半年～1年に一回以上の頻度で行っております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達支援(本人支援)、家族支援を組み合わせた、支援内容を作成し、地域交流をしていくための土台作りをしています。	作成された個別支援計画をもとにプログラムを立てております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に基づいて課題設定をしております。	職員間の経験の差などが出ないように、支援内容をプログラム化しております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援会議を行って、支援プログラムを作成しております。	様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるようにプログラムを考えてまいります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラム構成時に過去の内容を確認して予定を立てております。	お子様の様子を見ながら、プログラムを提案しております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しております。	集団活動に問題なく行動できるよう個別で支援してまいります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、朝礼で確認を行っております。	共有しやすいように、内容を精査し実施しております。朝礼で伝えきれなかった内容については、都度丁寧に確認、報告を行っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		当日の終礼で振り返りを行っております。また、終礼での報告をアプリで記録し、当日出勤でない職員にも共有出来るようにしております。	気づいた内容など記録に残しております。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援実施後、支援経過記録を記入し、終礼で共有しております。	個別ファイルに保存し、支援の向上資料として使用しております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回以上、モニタリングを行っております。	必要に応じて、早めにモニタリングを行う事もあります。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	児童発達支援管理責任者が出席しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	児童発達支援管理責任者が出席しております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		受け入れ実績がございません。	受け入れ実績がございません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		受け入れ実績がございません。	受け入れ実績がございません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様の希望を基に、連絡を取ったり、園への訪問、情報共有などを行っております。	保護者様の意向を汲み取りながら、今後必要に応じて実施していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様の希望を基に、連絡を取ったり、園への訪問、情報共有などを行っております。	保護者様の意向を汲み取りながら、今後必要に応じて実施していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	児童発達支援管理責任者が出席しております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		8/24に実施予定です。	本部主催のファミフェスをご利用者様にご案内しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	内容に応じて適切な職員が出席しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後、保護者様に支援内容等をお伝えし、保護者様からはご自宅等の様子をお聞きしております。	伺った内容は職員間で共有しております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	アンケートを実施するなどし、保護者様のニーズを把握し、研修内容に活かしております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明させて頂いております。	今後も分かりやすさを意識して行まいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者様へ支援開始前に支援内容を説明し、同意を得ております。	今後も分かりやすさを意識して行まいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際に迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	こちらから積極的に声掛けをするようにしております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	交流が出来る環境整備を行ってまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった際に迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	管理者が相談窓口になっております。施設内部だけで解決が難しい場合は、保護者様の意向を汲みながら、関係期間との連携を行ってまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagramや公式LINE等のSNSで発信しております。	個人情報の保護に留意してまいります。

非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	書類は鍵付き書庫にて保管しております。パソコン等はパスワードなど設定しております。	書類使用後は速やかに書庫に戻し、施錠する事を徹底しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	構造化や分かりやすい表現の仕方を心がけてまいります。	それぞれの方に合わせた伝達方法をおこなっていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	実績がございません。	現在は開催できておりません。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	保護者様の目が届く場所に保管しております。	保護者様への周知を徹底いたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に訓練を行っております。	訓練を事前に書面や公式LINEで告知するようにしてまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約時に保護者様にアセスメントをさせて頂いております。	保護者様へ確認し、アセスメントシートの記入、修正をしております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者様へ確認し、アセスメントシートの記入、修正をしております。食事、おやつ提供はございません。	必要に応じて、医師の指示書を頂くようにしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	見逃しがないよう多様な視点で見よういたします。	会議を行い職員間で情報共有を行ってまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的に事業所内で研修を行っています。	研修実施記録を残していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	契約時に保護者様に説明させて頂いております。必要に応じて計画書に記載し、サインを頂いております。	身体拘束等適正化のための指針に基づき行動しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS名東校			
○保護者評価実施期間	2024年 6月 1日		～	2024年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2024年 7月 1日		～	2024年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様と指導員1対1の個別療育を行っていること	・障がい名に捉われず、幅広い視野と知識によって、発達生理学に基づいたチェックを行い、一人ひとりの得意・不得意を分析し、その子にあった支援を行っている。個々に最適な療育を行うことによって、脳や心身の発達を促し、自立に向けての土台作りを行う。	・日々の職員間の連携や保護者様との関係作りをさらに強化し、利用者様・保護者様のニーズを適切に把握することによって、よりよい支援に繋げていく。
2	・万遍なく専門的な支援を行っていること	・感覚統合、原始反射の統合、ABA、TEACCH、SST、ビジョントレーニングで構成され、脳科学に基づいた運動療育プログラムを実施している。	・年齢や環境の変化に応じ、利用者様に沿った支援を意識する。また、職員個々の支援スキルの向上を行い、より適切で利用者様、保護者様のニーズに応じた支援を行っていく。
3	・研修制度やスーパーバイザーにいつでも意見を求めることができる環境が整っている。	・入社後、2週間に及び基礎研修、実地研修を行う。	・研修終了後も常に高い意識を持ち、職員ひとりひとりがスキルアップを目指しながら日々の業務に取り組む。チーム内でPDCAを繰り返し、わからないままにせず解決に向けて向上心を持っていく。また、スーパーバイザーへ意見を求めながらよりよい支援が行えるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所間や園などの関係機関との連携が取りにくい。	・連携を望まれていない保護者様の気持ちに寄り添って支援を行っている。	・保護者様との関係性を今後も構築していき、事業所間や関係機関との連携の要望があった際には迅速に対応を行う。また、当事業所を経たのち、次のステップにスムーズに進めるよう必要に応じて他関係機関に情報を共有する。
2	・集団的な支援を実施することができにくい。	・一人ひとりの可能性を引き出し、個性を活かす個別療育を行っているため、集団的な支援や活動が出来ない。	・脳科学に基づいた独自のプログラムを行うことによって、神経発達を促し、言語発達、集中力の向上に繋げ、さらには人との距離感などを身に付け、集団で必要となるコミュニケーション能力も養っていく。
3	・利用者様の送迎が行えない。	・1対1の個別療育を行い、保護者様へ支援のフィードバックを行っていることにより送迎に必要な時間や人員が確保できない。	・保護者様へ丁寧な説明を行い、理解を得る。また、自ら事業所へ通所することで自立にも繋がるということもご理解いただく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 8月 15日

アンケート期間:令和 6年 6月 1日 ~ 令和 6年 7月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS名東校

保護者等数(児童数) 42

回収数 25

割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	5	0	1		お子様に合わせて教具の配置などを変更し、支援しております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1	0	0		児童指導員、保育士を適切に配置しております。今後も専門性を活かして支援してまいります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2	2	2		必要に応じ設備を整えてまいります。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	24	1	0	0		モニタリングや支援の様子を踏まえ、ニーズや課題を客観的に分析し、支援計画を立ててまいります。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	23	0	0	2		今後もご利用毎にプログラムを立てていき、支援終了後にはフィードバックさせていただきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	14	7		本部主催のファミフェスにご利用者様をご案内しております。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	0		今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	1	0	0		今後も課題に対しての取り組み状況等、フィードバックし、共通理解をしていくよう心掛けていきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	4	1	1	・昔の責任者の方ですが、風邪で欠席連絡した際「病院受診もご検討ください」と返信が来て、とても不快になりました。親は必死に病院も連れていきます。「お大事にしてください」の返信で十分です。	定期的な面談時以外でも育児に対する助言や支援が行えるようお声掛けをしたり、ご希望に対して迅速に対応してまいります。欠席連絡等の対応については、事業所内で共有し、今後活かしてまいります。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	1	8	6	・セミナー等が開催されています。 ・参加していない。	引き続き保護者セミナーや座談会等を実施してまいります。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	2	1	6		今後も相談等があった際には迅速に対応してまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	0		今後もそれぞれにあった伝達方法を行ってまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3	2	6		公式LINEやSNS等を活用し、今まで以上に情報を発信させていただきます。
非常時等	14	個人情報に十分注意しているか	25	0	0	0		今後も個人情報の取り扱いに留意致します。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1	2	5		保護者様の目の届く場所に保管し、これまで以上に保護者様への周知を致します。

の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1	2	10		今後も定期的に避難訓練を実施してまいります。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1	0	0	・S.I.C.KIDSでのトレーニングを喜んでいます。いつもご指導いただきありがとうございます。	通所いただいている皆様に満足感を得て頂けるよう精進してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	24	1	0	0		通所いただいている皆様に満足感を得て頂けるよう精進してまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 7月 31日

公表:令和 6年 8月 15日

事業所名 S.I.C.KIDS名東校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースは確保しております。	お子様同士がぶつからない様に配慮しております。
	2	職員の配置数は適切である	○		適切に配置しております。	児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		移動範囲は障害物が無いようにしています。	玄関に段差があり一部バリアフリー化されていない箇所はあるが、構造化についてはお子様に丁度良い範囲で実施する様にしています。また、移動範囲は障害物が無いようにしています。必要に応じて設備を整えてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所で目標を設定して、よりよい療育の向上を図っております。	日頃の療育を振り返り、改善に繋がるようにミーティングを行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご意見を共有し、改善案を算定しております。	ご意見に対しては迅速に対応するように努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価の結果をweb上で公開しております。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っておりません。	第三者評価は実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内や外部研修に参加しております。	定期的に行っていけるよう取り組んでまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリング、職員間の情報をもとにお子様、保護者様のニーズに応えられるように作成しております。	今後も常にお子様及びその保護者様の立場にたって、効果的な支援を行うように心がけてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日常チェックリスト、アセスメントシート等を活用しております。	半年～1年に一回以上の頻度で行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援会議を行って、支援プログラムを作成しています。	様々な経験を積み重ね、将来必要となる力を養えるようにプログラムを考えてまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラム構成時に過去の内容を確認して予定を立てております。	お子様の様子を見ながら、プログラムを提案しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様の発達に合わせた課題を提供しております。	平日、休日等に限らず、スモールステップで毎回、課題を考え支援を実施していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しております。	集団活動に問題なく行動できるよう個別での支援をしてまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、朝礼で確認を行っております。	共有しやすいように、内容を精査し実施しております。朝礼で伝えきれなかった内容については、都度丁寧確認、報告を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日の終礼で振り返りを行っております。	気づいた内容など記録に残しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日の終礼で振り返りを行っております。また、終礼での報告をアプリで記録し、当日出勤でない職員にも共有出来るようにしております。	気づいた内容など記録に残しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回以上、モニタリングを行っております。	必要に応じて、早めにモニタリングを行う事もあります。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		自立支援、日常生活動作の獲得、余暇の提供等行っております。	成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育むようにしております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	児童発達管理責任者が出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様の希望を基に、連絡を取ったり、学校への訪問、情報共有などを行っております。	保護者様の意向を汲み取りながら、今後必要に応じて実施していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	受け入れ実績がございません。	受け入れ実績がございません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者様の希望を基に、連携を取っております。	保護者様の意向の汲み取りを面談などの機会を利用して行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	受け入れ実績がございません。	現在、移行されるお子様がいませんが、今後対象になるお子様、保護者様があれば情報提供を考えていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	内容に応じて適切な職員が出席しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		8/24に実施予定です。	本部主催のファミフェスをご利用者様にご案内しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	内容に応じて適切な職員が出席しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後、保護者様に支援内容等をお伝えし、保護者様からはご自宅等の様子をお聞きしております。	伺った内容は職員間で共有しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	アンケートを実施するなどし、保護者様のニーズを把握し、研修内容に活かしております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明させて頂いております。	今後も分かりやすさを意識して行ってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際に迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	こちらから積極的に声掛けをするようにしております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	交流が出来る環境整備を行ってまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった際、迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	信頼関係の回復につながるよう精神誠意対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		インスタグラムや公式LINE等のSNSで発信しております。	個人情報の保護に留意してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		書類は鍵付き書庫にて保管しております。パソコン等はパスワードなど設定しております。	書類使用後は速やかに書庫に戻し、施錠する事を徹底しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		構造化や分かりやすい表現の仕方を心がけてまいります。	それぞれの方に合わせた伝達方法をおこなっていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実績がございません。	現在は開催できておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者様の目が届く場所に保管しております。	保護者様への周知を徹底いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っております。	訓練を事前に書面や公式LINEで告知するようにしてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に事業所内で研修を行っています。	研修実施記録を残していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明させて頂いております。必要に応じて計画書に記載し、サインを頂いております。	支援中にケガに繋がる場合等、身体拘束が発生した場合は保護者様にご報告と、記録を残しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様へ確認し、アセスメントシートの記入、修正をしております。 食事、おやつの提供はおこなっていません。	必要に応じて、医師の指示書を頂くようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		見逃しが無いよう多様な視点で見えるように致します。	会議を行い職員間で情報共有を行ってまいります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS名東校			
○保護者評価実施期間	2024年 6月 1日		～	2024年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2024年 7月 1日		～	2024年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様と指導員1対1の個別療育を行っていること	・障がい名に捉われず、幅広い視野と知識によって、発達生理学に基づいたチェックを行い、一人ひとりの得意・不得意を分析し、その子にあった支援を行っている。個々に最適な療育を行うことによって、脳や心身の発達を促し、自立に向けての土台作りを行う。	・日々の職員間の連携や保護者様との関係作りをさらに強化し、利用者様・保護者様のニーズを適切に把握することによって、よりよい支援に繋げていく。
2	・万遍なく専門的な支援を行っていること	・感覚統合、原始反射の統合、ABA、TEACCH、SST、ビジョントレーニングで構成され、脳科学に基づいた運動療育プログラムを実施している。	・年齢や環境の変化に応じ、利用者様に沿った支援を意識する。また、職員個々の支援スキルの向上を行い、より適切で利用者様、保護者様のニーズに応じた支援を行っていく。
3	・研修制度やスーパーバイザーにいつでも意見を求めることができる環境が整っている。	・入社後、2週間に及び基礎研修、実地研修を行う。	・研修終了後も常に高い意識を持ち、職員ひとりひとりがスキルアップを目指しながら日々の業務に取り組む。チーム内でPDCAを繰り返し、わからないままにせず解決に向けて向上心を持っていく。また、スーパーバイザーへ意見を求めながらよりよい支援が行えるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所間や学校などの関係機関との連携が取りにくい。	・連携を望まれている保護者様の気持ちに寄り添って支援を行っている。	・保護者様との関係性を今後も構築していき、事業所間や関係機関との連携の要望があった際には迅速に対応を行う。また、当事業所を経たのち、次のステップにスムーズに進めるよう必要に応じて他関係機関に情報を共有する。
2	・集団的な支援を実施することができない。	・一人ひとりの可能性を引き出し、個性を活かす個別療育を行っているため、集団的な支援や活動が出来ない。	・脳科学に基づいた独自のプログラムを行うことによって、神経発達を促し、言語発達、集中力の向上に繋げ、さらには人との距離感などを身に付け、集団で必要となるコミュニケーション能力も養っていく。
3	・利用者様の送迎を行うことができない。	・1対1の個別療育を行い、保護者様へ支援のフィードバックを行っていることにより送迎に必要な時間や人員が確保できない。	・自ら事業所へ通所できるように、保護者との連携を通じ、自立に繋げていく。